

平成29年度全国高等学校総合体育大会
第67回全国高等学校スキー大会要項

- 1 主催 (公財)全国高等学校体育連盟 (公財)全日本スキー連盟 岐阜県 北海道
岐阜県教育委員会 北海道教育委員会 高山市 郡上市 名寄市 高山市教育委員会
郡上市教育委員会 名寄市教育委員会
- 2 共催 読売新聞社
- 3 後援 スポーツ庁 (公財)日本体育協会 日本放送協会 (公財)岐阜県体育協会
(公財)北海道体育協会 (一財)高山市体育協会 郡上市体育協会 (一財)名寄市体育協会
- 4 主管 (公財)全国高等学校体育連盟スキー専門部 岐阜県高等学校体育連盟
北海道高等学校体育連盟 岐阜県スキー連盟 (公財)北海道スキー連盟 名寄地方スキー連盟
- 5 期 日 平成30年2月4日(日) ~ 8日(木)
(1)開会式 2月4日(日)
(2)競技 2月5日(月) ~ 8日(木)
(3)閉会式 2月8日(木)
- 6 会 場 (1)開会式 丹生川文化ホール 高山市

(2)競技 アルペン 飛騨ほおのき平スキー場
クロスカントリー デイリース郡上・牧歌の里クロスカントリーコース
スペシャルジャンプ 名寄市ピヤシリジャンツェ
ノルディックコンバインド 名寄市ピヤシリジャンツェ
なよろ健康の森クロスカントリーコース
(3)閉会式 たかす町民センター 郡上市

7 種 目

男 子	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャイアントスラローム ・スラローム ・クロスカントリー10km(クラシカル) ・クロスカントリー10km(フリー) ・スペシャルジャンプ ・ノルディックコンバインド ・リレー(10km×4人 1・2走クラシカル 3・4走フリー)
女 子	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャイアントスラローム ・スラローム ・クロスカントリー5km(クラシカル) ・クロスカントリー5km(フリー) ・リレー(5km×3人 1走クラシカル 2・3走フリー) ・スペシャルジャンプ(公開競技)

8 日 程

月 日	時刻	競技内容	会場
2月4日 (日)	8:45	ジャンプ種目TCM	名寄市ピヤシリシャンツェ 管理棟
	10:00	スペシャルジャンプ公式練習及びノルディック コンバインドPCR	名寄市ピヤシリシャンツェ
	14:00	開会式	丹生川文化ホール(ホール)
	16:00	アルペン種目 TCM	丹生川文化ホール(2-4会議室)
	16:00	クロスカントリー種目 TCM	たかす町民センター
2月5日 (月)	9:15	男子ジャイアントスラローム	飛騨ほおのき平スキー場かもしか・アルペンコース
	10:00	スペシャルジャンプ(女子公開競技に引続き男子競技)	名寄市ピヤシリシャンツェ
	10:00	女子クロスカントリー5km(フリー)	デイリー郡上・牧歌の里クロスカントリーコース
	13:00	男子クロスカントリー10km(フリー)	デイリー郡上・牧歌の里クロスカントリーコース
	17:00	アルペン種目 TCM	飛騨ほおのき平スキー場 スキーセンター2F 大会議室
2月6日 (火)	9:15	女子ジャイアントスラローム	飛騨ほおのき平スキー場かもしか・アルペンコース
	10:00	ノルディックコンバインドジャンプ	名寄市ピヤシリシャンツェ
	10:00	女子クロスカントリー5km(クラシカル)	デイリー郡上・牧歌の里クロスカントリーコース
	13:30	ノルディックコンバインドクロスカントリー10km(フリー)	なよろ健康の森クロスカントリーコース
	17:00	アルペン種目 TCM	飛騨ほおのき平スキー場 スキーセンター2F 大会議室
2月7日 (水)	9:15	男子スラローム	飛騨ほおのき平スキー場アルペンコース
	10:00	男子クロスカントリー10km(クラシカル)	デイリー郡上・牧歌の里クロスカントリーコース
	17:00	アルペン種目 TCM	飛騨ほおのき平スキー場 スキーセンター2F 大会議室
2月8日 (木)	9:00	女子スラローム	飛騨ほおのき平スキー場アルペンコース
	9:30	女子リレー(5km×3人)	デイリー郡上・牧歌の里クロスカントリーコース
	11:30	男子リレー(10km×4人)	
	16:00	閉会式	たかす町民センター

9 競技規則

(公財)全日本スキー連盟競技規則最新版に準拠した(公財)全国高等学校体育連盟スキー専門部規程によるほか、本大会要項による。

10 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

11 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、スキー専門部に登録し、(公財)全日本スキー連盟に会員登録と競技者登録(SAJデータバンク登録者一覧に記載された者)を完了し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得た者に限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。

- (3) 年齢は、1998年（平成10年）4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は同一競技への参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に6ヶ月が経過し、出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ア. 上記（1）（2）に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ. 上記（3）の但し書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア. 本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ. 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア. 大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

12 出場制限

- (1) 1校からの出場選手について、アルペン及びクロスカントリー種目は、1種目男女とも3名以内とし、補欠は両種目とも1名とする。ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド）は、制限を加えず、補欠は存在しない。但し、いずれの場合も都道府県予選通過者に限る。リレーは1チームとする。（男子は6名連記、女子は5名連記）また、出場選手は1人2種目以内とする。但し、リレーはこの限りではない。
- (2) 平成29年度都道府県種目別出場人員枠を、別表1のとおり制限する。
- (3) 予選会の開催が不可能な都道府県は、当該高等学校体育連盟スキー専門部長及び都道府県高等学校体育連盟会長の推薦によって出場することができる。

- (4) (公財) 全日本スキー連盟推薦による海外派遣等のため、各都道府県予選会に出場できなかった者は、所定の手続きの上、その都道府県の枠外で本大会に出場できる(海外特枠選手)。但し、この場合は補欠選手との交代はできない。
- (5) 開催都道府県は、各種目3名、リレー1チームの増を認める。
- (6) 補欠選手は、各都道府県の予選会において、その都道府県の出場枠内順位であって各校出場枠外にあった場合、その種目該当校に1名の補欠選手を認める。補欠選手を設けた場合は、補欠選手の数だけ予選会の順位を繰り上げてエントリーすることができる。(各都道府県の出場枠に、補欠選手は含まない。)
- (7) 出場選手のランキングは、各都道府県予選会の順位とする。但し、補欠選手及び1校出場枠を超える選手があった場合は、繰り上げランキングとする。
- (8) 補欠選手と正選手の交代は、当該種目実施前日の16時までに大会実施本部において受け付け、組織委員会の判断において決定する。交代が認められた選手は、アルペン種目においてはチームキャプテンミーティングで連絡し、クロスカントリー種目の当該校には電話又はFAXで連絡する。併せて、大会ホームページ及び公式掲示板で告知する。
- (9) 外国人留学生の参加については、男女とも1校1名までとする。

13 抽 選

- (1) ノルディック種目は、あらかじめ仮出発番号を定めるものとし、各都道府県の出場制限数によって各グループの仮出発番号の抽選を行う。
- (2) ①海外派遣等の選手を海外特別枠選手として出場させている学校で、1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込むこと。申し込み後の変更は認めない。
②ジャンプ種目(スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド)において1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指名して申し込むこと。申し込み後の変更は認めない。
- (3) 抽選は、平成30年1月22日(月)午前10時から高山市実行委員会事務局本部において行う。抽選責任者は、(公財)全国高等学校体育連盟スキー専門部とし、参加チーム代表者は希望によって立ち会うことができる。なお、抽選については、(公財)全国高等学校体育連盟スキー専門部細則による。
- (4) 抽選方法は次のとおりとする。
 - ①アルペン種目は6グループに、ノルディック種目は(リレーは除く)4グループに区分する。
 - ②ノルディック種目のグループ分けは、出場枠に応じてランキング1から順に第4グループから割り振る。以下、第3・第2・第1グループまで均等に分ける。
 - ③アルペン種目においては、前年度入賞者と第1グループ内のSAJポイント上位を含めた15名を特別グループとする。
 - ④各グループ別人数については、別表2により区分する。
 - ⑤(公財)全日本スキー連盟推薦による海外特別枠選手の区分は、アルペン種目は第1グループ、ノルディック種目においては第4グループの後に位置し、それが複数の場合は抽選でスタート番号を決める。
- (5) 出発順は次のとおりとする。
 - ①クロスカントリー種目(リレーは除く)は、第3、第4、第2、第1グループ順を原則とする。
 - ②ジャンプ種目は、第1、第2、第3、第4のグループを原則とする。
 - ③ノルディックコンバインド10kmはグンダーセン方式とする。
 - ④アルペンは男女とも各グループ内でポイント順とし、第1グループ内の特別グループ選手(15名)及び各グループ内のノーポイントの選手においては、抽選により出発順を定める。
- (6) 補欠選手との入れ替え
正選手と補欠選手の入れ替えは、スタート番号を変えずに正選手のスタート番号にて補欠選手をスタートさせる。

14 採点方法

(1) 入賞得点は次のとおりとする。(女子ジャンプ公開競技は点数計算に入らない。)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
得点	11	9	8	7	6	5	4	3	2	1

(2) 個人入賞で同順位の場合は、次位を空席とし該当する得点を合計し、同順位者数で割った点数を得点とする。

(3) 総合優勝は総合最高得点校であり、同点の場合は各種目の上位入賞者数(3位まで)により決定する。なお、それでも決定しない場合は、リレー競技の順位により決定する。

(4) 2位以下の順位決定は得点順とするが、同点の場合は同順位とし、次位を空席とする。

(5) 前項13抽選(2)に示す選手の出場で、1校4名以上の出場となった場合の得点対象はあらかじめ指定した3名のみとし、対象外者の得点は次位者に与える。

15 表彰

(1) 総合の部

- ① 優勝校には男女とも(公財)全国高等学校体育連盟会長杯及び文部科学大臣杯を授与する。
(持ち回りとする)
- ② 賞状は、男女とも1位から6位まで授与する。
- ③ 優勝校には、男女ともNHK杯及び読売新聞社杯を授与する。
- ④ 表彰は閉会式において行う。

(2) 種目別の部

- ① 男女とも1位から10位まで賞状を授与する。
- ② 男女とも各種目3位まで(公財)全日本スキー連盟制定のメダルを授与する。
- ③ 表彰は各競技終了後、各競技会場にて行う。
- ④ 女子スペシャルジャンプ公開競技種目は、(公財)全国高体連スキー専門部で6位まで表彰する。

16 参加申込

※ 個人情報の取扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(1) 申込書類

- ・様式1 大会参加申込通知書
- ・様式2 都道府県選手団役員編成表
※選手団役員の編成は、団長・副団長・総監督・総務・種目別監督各1名とする。
- ・様式3 種目別参加申込書【3R(リレー)・3N(ノルディック)・3A(アルペン)】
- ・様式4 学校別出場認知書【男女別とする】
※各学校の監督・マネージャーはそれぞれ3名以内とする。
また、競技者番号の記入のないものは受け付けない。
- ・様式5-1 AL・CC都道府県選手団宿泊申込書
- ・様式5-2 ジャンプ、コンバインド種目宿舎報告書
- ・様式6 学校別宿泊申込書
- ・様式7 都道府県役員宿泊申込書
- ・様式8 視察申請及び宿泊申請書【視察員を派遣する都道府県のみ】
- ・都道府県予選会の公式記録(リザルト)
(リザルト形式でない場合、順位、タイムが明記されており、専門委員長の印があること)

(2) 申込方法

- 大会要項及び参加申込書は、各都道府県高体連事務局へ送付し、大会ホームページにも掲載する。
- 参加申込書は、H29年度第67回大会の書式を使用し、過去の大会の参加申込データは使用しないこと。
- 参加校は下記の書類を作成し、各都道府県申込責任者に提出すること。

様式4 学校別出場認知書（選手氏名の漢字、生年月日、学年など間違いのないように確認すること）

様式6 学校別宿泊申込書

- 各都道府県申込責任者（各都道府県専門委員長）の業務

- ① 上記（1）の申込書類を作成及び取りまとめること。様式3（R・N・A）、様式4（学校別出場認知書）、予選会公式記録を照らし合わせ、選手氏名、学年、生年月日、ランキング（予選会順位）等に間違いのないよう確認すること。また、都道府県出場枠（別表1）、抽選グループ別人数（別表2）とも照らし合わせ、枠数、シードについても確認すること。
- ② 締切日までに、全ての書類を下記事務局にメール送信及び郵送すること。（様式1、様式4の公印、公式記録のサインを確認すること）
- ③ 北海道開催種目にエントリーがある都道府県は、各校の宿舍を取りまとめ、様式5-2「ジャンプ・コンバインド種目宿舍報告書」をメールにて送信すること。
- ④ データを正しく受信した後、事務局から確認メールを送信する。
- ⑤ 申込書類（様式1、様式4、公式記録）の送付は、「簡易書留速達」とし、封筒には「大会申込書在中」と朱書きすること。
- ⑥ 参加料・プログラム代金（合計金額）の送金は「銀行振込」とし、岐阜県開催種目と北海道開催種目に分けて振りこむこと。なお、振込金受領書のコピー（岐阜、北海道分）を申込書類とともに高山市実行委員会に郵送すること。または第2回全国委員会（高山市開催）に持参すること。
アルペン・クロスカントリー種目・・・・・・・・岐阜県高山市実行委員会へ振込み。
ジャンプ、ノルディック・コンバインド種目・・・・北海道実行委員会に振込み。
- ⑦ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受付けない。
- ⑧ 申込後の選手（補欠を含む）の変更は認めない。

(3) 送付先

〒506-8555

岐阜県高山市花岡町2丁目18番地 高山市役所 市民活動部スポーツ推進課内

平成29年度全国高等学校総合体育大会

第67回全国高等学校スキー大会高山市実行委員会事務局

TEL 0577-35-3157

FAX 0577-35-3414

E-mail takayama67ski@hidanet.ne.jp

(カヤマ の 川 スキー アットマーク ヒダネット ドット イー ドット ジェット)

(4) 申込期限

申込書類一式：締切 平成30年1月20日（土）17：00必着

(5) 参加料（選手のみ、女子スペシャルジャンプ選手も含む）及びプログラム代金

個人 : 1種目 4,000円

リレー : 男子1チーム 8,000円、女子1チーム 6,000円

プログラム： 1部1,000円 参加校に男女各1部を無料配布する。その他は実費で販売する。

【※参加申込と同時に参加料・プログラム代金の合計額を納入すること。】

【振込先】

◎アルペン・クロスカントリー種目参加料及びプログラム代金

金融機関名	飛驒信用組合
店番号	001
普通口座	0873337
口座名義	第67回全国高等学校スキー大会高山市実行委員会 事務局 長 中田 誠

◎ジャンプ、ノルディックコンバインド種目参加料及びプログラム代金

金融機関名	北星信用金庫
支店名	下川支店
普通口座	1036229
口座名義	平成29年度全国高等学校総合体育大会第67回全国高等学校スキー大会 北海道実行委員会事務局 会計 下川商業高等学校 文梨 章二

17 宿 泊

- (1) 宿泊の申込については、必ず大会実行委員会事務局を経由することとし、指定された方法・期日厳守で申し込むこと。
- (2) 詳細については、宿泊要項を参照のこと。
- (3) ジャンプ・コンバインド種目は、北海道実行委員会事務局で斡旋しないため、各都道府県で宿舎を決定し、参加申込の際に指定の用紙（様式5-2）で宿泊先を知らせること。

18 傷害処置

出場選手が競技中に傷害を受けた場合は、主催者が応急処置を行い医療機関まで輸送する。以後は、各学校で処置するものとする。

19 注意事項

- (1) 参加選手は、あらかじめ傷害保険（独立行政法人日本スポーツ振興センターを含む）に加入していること。
- (2) 出場選手は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は、すべての行動に対して責任を負うものとする。
- (3) 都道府県選手団種目別代表監督は、下記会場にて受付を済ませること。
アルペン種目 高山市丹生川町町方1 丹生川文化ホール
クロスカントリー種目 郡上市高鷲町大鷲1244-8 たかす町民センター
ジャンプ・コンバインド種目 北海道名寄市日進 名寄市ピヤシリシャンツェ管理棟(2月4日TCMまで)
なお、受付は、平成30年 2月 1日(木) からとする。(9:00~16:30)

20 実行委員会事務局及び大会実施本部

(1) 岐阜県開催種目

<p>【アルペン種目】 《高山市実行委員会事務局》 〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地 高山市役所 市民活動部スポーツ推進課内 平成29年度全国高等学校総合体育大会 第67回全国高等学校スキー大会高山市実行委員会事務局 TEL 0577-35-3157 FAX 0577-35-3414 E-mail ski-2017@city.takayama.lg.jp takayama67ski@hidanet.ne.jp (申込み・実施本部 1/25~2/8)</p>	<p>【クロスカントリー種目】 《郡上市実行委員会事務局》 〒501-4222 岐阜県郡上市八幡町島谷130番地1 郡上市教育委員会スポーツ振興課 平成29年度全国高等学校総合体育大会 第67回全国高等学校スキー大会郡上市実行委員会事務局 TEL 0575-67-1815 FAX 0575-65-6260 E-mail gujo67ski@city.gujo.gifu.jp</p>
--	--

(2) 北海道開催種目(ジャンプ、ノルディックコンバインド種目)

<p>《北海道実行委員会事務局》 【平成30年1月30日まで】 〒077-0013 北海道留萌市東雲町1丁目84番地 北海道留萌高等学校内 平成29年度全国高等学校総合体育大会 第67回全国高等学校スキー大会北海道実行委員会事務局 TEL 0164-42-0730 FAX 0164-42-0731 E-mail 67ski-nayoro@hokkaido-c.ed.jp</p>
<p>《北海道大会実施本部》 〒096-0017 北海道名寄市西7条南12丁目 名寄市スポーツセンター内 名寄地方スキー連盟 TEL 01654-3-6627 FAX 01654-3-8671 E-mail sanayoro@agate.plala.or.jp</p>

(3) 第67回全国高等学校スキー大会実施本部【平成30年1月25日~2月8日】

<p>〒506-2123 岐阜県高山市丹生川町町方1 丹生川文化ホール内 TEL 0577-70-8082 FAX 0577-70-8083 E-mail takayama67ski@hidanet.ne.jp</p>

(4) 大会ホームページアドレス

<p>http://www.hidanet.ne.jp/~67interhighski/ (ヒダネット ドット イー ドット ジェット シェット - ノバタ かつ ｲﾝﾀｰﾊｲｽｷｰ)</p>
--